

「そばは人づくりに効果」

そばの魅力を多くのシニア仲間と楽しむボランティアグループ「そば知人塾」を主宰する平林知人さん(74)が、さいたま市内で開かれた第56回戸田中央医科グループ(TMG)学会で「蕎麦(そば)に魅せられた私の社会学」をテーマに特別講演を行った。平林さんは「そばは人づくりに効果がある。その楽しさを伝えたい」と説いた。

平林さんは、農業を支援する「チーム農援隊」の代表やシニアのパワーを社会に引き出す県の「地域デビュー楽しみ隊」の隊員などのボランティア活動を行っている。

同学会には、TMG医療関係者ら約2500人が参加。

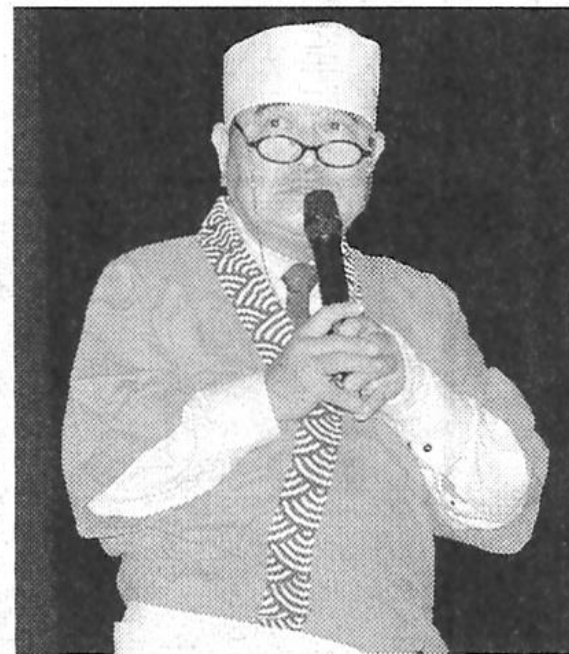
さいたままで
TMG学会
平林さんが講演

学会長を務めた戸田中央産院の佐野養院長のきょうだいが、平林さんのボランティア仲間という縁で講演が実現した。

商社員だった平林さんは現役時代からそば打ちにのめり込んだ。その奥深さに魅了され、退職後は地域でそば打ち教室を開いたり、そばのルーツといわれる中国雲南省やヒマラヤ山麓の国ブータンなどで「そば打ち交流会」を実施。そばを通じた社会貢献を形にしてセカンドライフを送っている。

講演ではテレビ出演や海外での活動を動画で紹介しながら、人々との出会い、楽しみ隊の活動やそば文化の普及について熱く語っ

そばの魅力について語る平林知人さん＝さいたま市大宮区のソニックシティ大ホール



た。

講演を受けて佐野院長は「高齢者が地域の活動をする」と認知症などの予防につながるというデータもあり、超高齢化社会でそばの社会学は対応し得るツール。大変興味深かった。病院でもリハビリにそば打ちを活用したい」と述べた。

(小林義治)